

株主の皆さまへ

第161期 中間報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日



トップメッセージ

フォーカス

トピックス

業績の概況(連結)

中間財務諸表(連結・単体)

会社の概況・グループ会社の紹介



あつたかを、あなたに、街に、そして未来に。

北海道ガス株式会社

証券コード9534

はじめに

株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。ここに当社の平成18年4月1日から9月30日までの業績をお伝えする第161期中間報告書をお届けいたします。今号では、これまで皆さまから寄せられたご質問などにお答えしてまいります。当社の取り組みや今後の展望についてご理解を深めていただく一助となりましたら幸いです。

代表取締役社長 前泉 洋三

経営方針について聞かせてください。

2010年ビジョン
次代のエネルギーを考え、北の生活文化を創造する、「地域のパイオニア」をめざす。

当社は、エネルギー分野を中心に、環境と人の暮らしが調和した、豊かで快適な地域社会の実現を目指しています。このため、地域のお客さまの生活、産業・文化に貢献できるよう「次代のエネルギーを考え、北の生活文化を創造する、地域のパイオニアをめざす」を2010年ビジョンに掲げて事業を展開しています。

クリーンエネルギー・天然ガスの普及拡大を中心に、LPガス、石油製品、熱供給など各種エネルギーの提供を通して、お客さまの様々なニーズにお応えできる「総合エネルギーサービス事業」を展開していきます。また、住宅建築・設備工事、リフォーム、不動産、介護、コンピュータ関連をはじめとする生活関連事業など、北ガスグループが一体となって安心して快適な暮らしの創造に取り組んでいきます。

営業施策について聞かせてください。

昨今の環境意識の高まりは、環境に優しい天然ガスを供給し、エネルギー効率に優れたガス機器・シス

テムを商品としている当社にとっては、大きな追い風になると考えています。昨年販売を開始した家庭用コージェネレーションシステム「ECOWILL(エコウィル)」の販売も好調であり、お客さまからご好評をいただいております。省エネ型ガス床暖房・給湯システム「Fact(ファクト)」とともに、当社の戦略商品として普及拡大を図っていきます。

一方、新たなエネルギーサービス事業への取り組みとして、当社のESP(エネルギーサービスプロバイダ)事業を(株)エナジーソ

暮らしを支えていきます。北国の豊かで快適な暮らしを支えていきます。

リューションに移管することにより、北ガスグループの連携による効率的な営業活動を展開しています。エネルギーシステムの提案、設備の設置・運用・メンテナンスなど、総合的なエネルギーサービスの提供により、エネルギーシェアの拡大を図っていきます。

規制緩和の進展により、エネルギー業界は本格的な競争時代に突入しています。来年4月にはさらなる自由化範囲の拡大が予定されており、ガス市場においても競争が一層激化することが予想されます。これらの競争を勝ち抜くためには、お客さま一人一人に喜びと感動を提供し、北ガスのブランド力を高めていくことが必要不可欠です。お客さまのニーズにきめ細かくお応えするために、北ガスグループが一体となった営業活動を進めることにより、お客さまに選択され続ける企業グループを目指していきます。

商品および技術開発について聞かせてください。

商品開発については、環境に優しい天然ガスの文化を創造すべく、省エネ型ガス床暖房・給湯システム「Fact(ファクト)」や家庭用コージェネレーションシステ

お客さまに選択され続ける企業グループを目指していきます。

ム「ECOWILL(エコウィル)」を中心にした寒冷地向けシステム機器の開発とさらなる進化に取り組んでいます。現在は、次世代のシステムとして期待されています。「1kW級家庭用燃料電池」の寒冷地仕様機の開発を行っており、経済産業省が進める国家プロジェクトの「大規模実証事業」へも参画しています。寒冷地向け家庭用燃料電池については、今年度10台の実証運転を予定しており、平成20年度以降の早い時期での市場導入を目指しています。また、新しいタイプの暖房機として、暖かな炎の見える輻射式ガスFF暖房機の開発を現在行っており、来年夏には発売する予定です。今後も環境負荷低減と省エネルギー性・快適性に優れた機器・システムの開発を進めることにより、地域社会の発展に寄与していきたいと考えています。



FOCUS

ますます好評「天然ガスのセントラル」



「ECOWILL エコウィル」と「Fact ファクト」で
快適な暮らしを提案しています

暖房・給湯・キッチンと暮らしのエネルギーを
トータルに担う「天然ガスのセントラル」。

一戸建て住宅向けでは家庭用ガスコージェ
ネレーション「エコウィル」が販売目標を大き
く上回る人気となっています。「エコウィル」は
天然ガスで発電し、そのときに出る排熱を給
湯や暖房に利用でき、環境性・経済性・快適
性を兼ね備えた画期的なシステムです。

「エコウィル」が標準装備された分譲住宅～
エコウィルの街～も誕生しています。
マンション向けでは省エネ型ガス床暖房・給



エコウィル
の街が
誕生しました。



分譲中のエコウィル付き住宅

湯システム
「ファクト」が
順調にシェア
を伸ばして

います。「ファクト」は快適な床暖房を標準装備。
ミストサウナをはじめとした豊富な機器バリ
エーションもご好評をいただいています。
いまや「エコウィル」「ファクト」は北国の快適
な暮らしに欠かせない存在となっています。

コラム

ガスのある暮らし ウィズガス

「ガスのある暮らしの素晴らしさ」

を広くご理解いただく

ために、ガスエネルギー
業界全体で『ウィズガス』

というコンセプトワードを掲げました。

お客様の暮らしに対するニーズ

にお応えるために、こ

れからも「ガスのある
暮らし」の本当の良さを

しっかりとお伝えしていきます。



これからも
よろしく
お願いします。



4都市で北ガス展開催 今年のテーマは「暮らしの真ん中に、天然ガス」



北ガス最大のイベント、北ガス展が札幌、小樽、千歳、北見の4都市で開催され合計で5万人をこえるお客さままでにぎわいました。

今年のテーマは「暮らしの真ん中に、天然ガス」。

お客さまの暮らしをより快適に演出する最新ガス機器の展示をはじめ、有名シェフによるクッキングステージ、各界著名人によるトークショーなどたくさんのイベントで盛り上がりました。

今年4月に新たに開設された北見支店では、今回が北ガス展初開催となりました。北見市主催の「第15回全国ハーブサミット北見大会」も同時に開催

されていたこともあり、クッキングステージでは北見産ハーブを使った料理を紹介し地元北見のお客さまとの一体感を感じることができました。



北ガス展 札幌



北ガス展 千歳



北ガス展 小樽



北ガス展 北見

昭和36年の初開催以来、「お客さまへの感謝の気持ち」をコンセプトに、伝統をまもりながらこれからも北ガス展は進化を続けていきます。

たくさんのお客さまにご来場いただきました。



FOCUS

新たなエネルギーサービス事業の展開 エネルギーのトータルコーディネート

天然ガスを中心とした総合エネルギーサービス事業の推進・拡大を目指して設立された(株)エナジーソリューションでは、これまで小樽築港地区におけるエネルギー供給事業を行ってきましたが、このたび当社が行ってきたESP(エネルギーサービスプロバイダ)事業の移管を受け、機動的な営業展開によるさらなる事業拡大を目指していきます。今後は当社と一体になってお客さまにより最適なエネルギー供給をご提案していきます。

【ESP事業について】

ESP(Energy Service Provider)事業とは、お客さまの施設内にエネルギー供給設備を設置し、電気や熱などのエネルギーを供給する事業です。エネルギー供給設備の所有者はESP事業者となり、お客さまは初期の設備投資を負担することなく省エネ・省コストを実現できます。

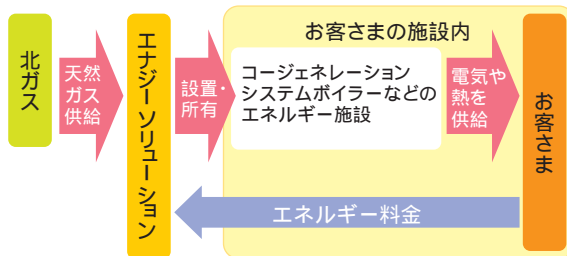


ホテル日航千歳 様



天然温泉 北のたまゆら 様

ESP事業のイメージ



TOPICS#01

環境教育を支援～こども未来博2006に出展～

札幌商工会議所創立100周年記念イベントである「こども未来博2006」に協賛・出展。「最新の科学技術や自然科学を通じ、次の新しい100年を支える子供たちに夢と希望と可能性を与える」をコンセプトに、メタンハイドレート構造模型や日本で唯一の「ガスオルガン」を展示し、燃料電池カーの実走もおこないました。クリーンエネルギー・天然ガスが持つさまざまな可能性に、来場した子供たちは目を輝かせていました。



日本で唯一の「ガスオルガン」

TOPICS#03

業務用でもクリーンエネルギー・天然ガスが主役

クリーンエネルギー・天然ガスの導入以降、その環境性・省エネ性・価格安定性が商業用・工業用の幅広い分野のお客さまに高く評価されています。特に近年では、原油価格高騰も追い風となり、ボイラー・空調・発電などさまざまな用途で急速に需要が拡大しています。



(株)エンパイア千歳支店 様

TOPICS#02

ガス料金の「クレジット決済」を導入

お客さまのご要望にお応えして、本年6月分ガス料金のお支払いから、北海道では初めてとなる都市ガス料金のクレジット決済を開始しました。これによりガス料金のお支払いが一層便利になりました。これからもお客さまの立場で発想し、さらなるサービス向上に取り組んでいきます。

TOPICS#04

室蘭ガス株式会社との資本・業務提携に合意

このたび室蘭ガス(株)との間で資本提携および業務提携をおこなうことで合意しました。

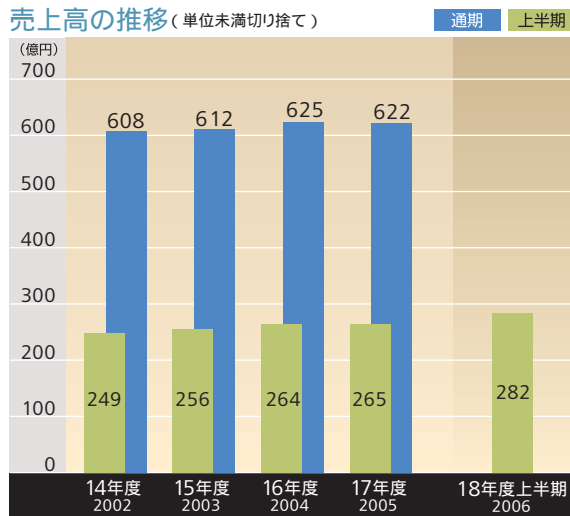
現在、北海道内では各ガス事業者が天然ガス転換の準備を順次すすめており、天然ガス普及のための基盤が整いつつあります。今後も都市ガス事業者間の連携を強化し、クリーンエネルギー・天然ガスの一層の普及拡大に取り組んでいきます。

業績の概況(連結)

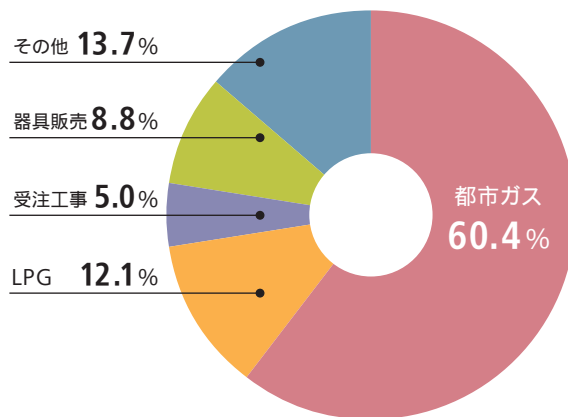
当中間期の連結売上高は、主に受注工事業、その他の事業等の増収により、前中間期に比べ6.1%増の28,202百万円となりました。都市ガス事業のガス販売量は、家庭用については、5月の気温が高めに推移したこと等によるマイナス影響がありましたが、北見市の都市ガス事業譲受によるお客さま件数の増加等により、前中間期に比べ0.2%増の45百万m³となりました。業務用については、新規大口物件の獲得等により、同14.3%増の103百万m³となり、合計で同9.6%増の149百万m³となりました。ガス売上高は、前中間期に比べ3.6%増の17,430百万円となりました。

一方、費用については、継続したコスト削減に努めましたものの、原材料費および減価償却費等の増加がありましたため、経常利益は同235百万円減の546百万円となりました。また、特別損失として、固定資産除却費を計上いたしました結果、法人税等調整後の中間純利益は同108百万円増の194百万円となりました。

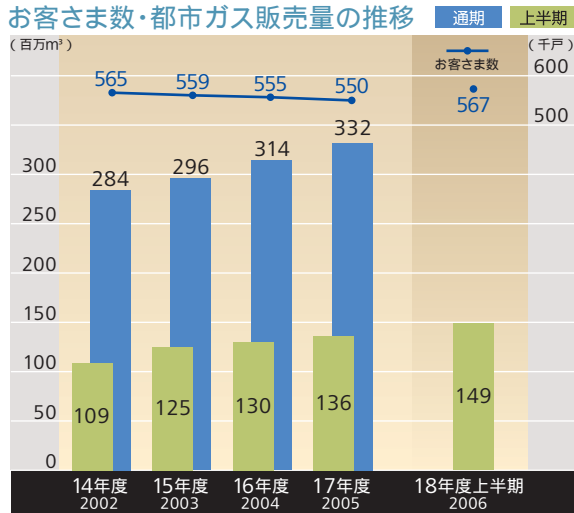
売上高の推移(単位未満切り捨て)



売上高構成比

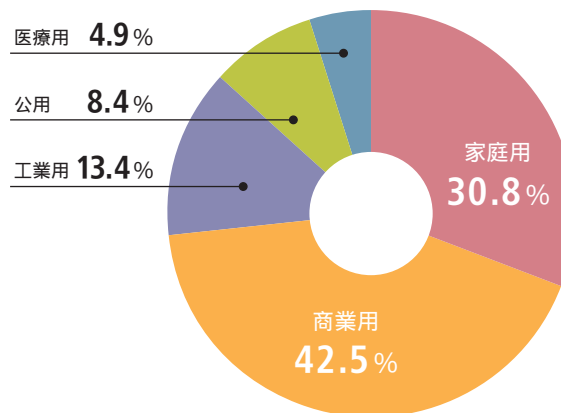


お客さま数・都市ガス販売量の推移

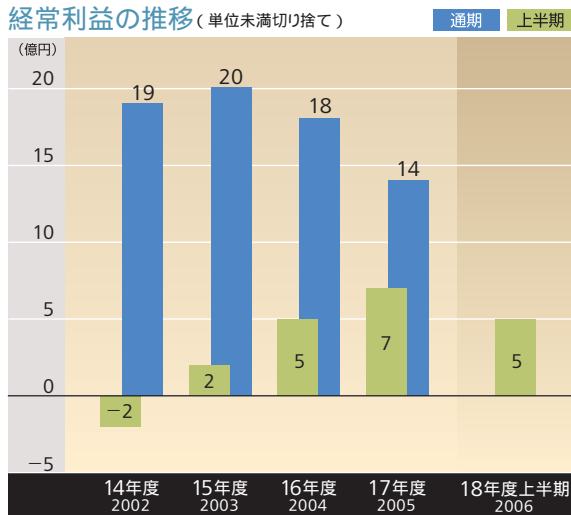


都市ガス販売量は46.04655MJ換算・単位未満切り捨て

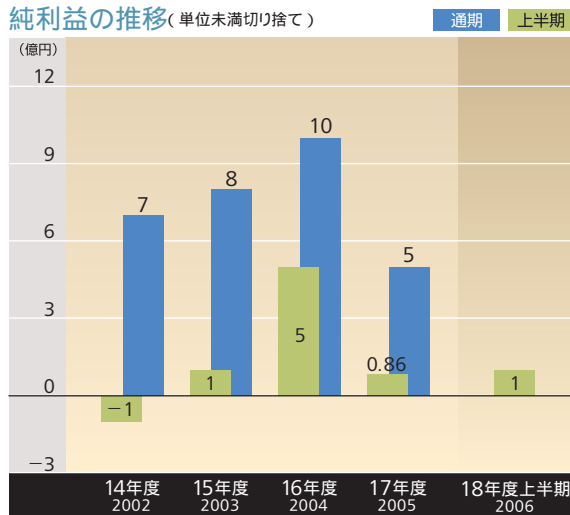
都市ガス販売量構成比



経常利益の推移 (単位未満切り捨て)



純利益の推移 (単位未満切り捨て)



17年度上半期は百万円単位まで表示

中間財務諸表(連結)

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.9.30)	前期 (18.3.31)
資産の部		
固定資産	84,558	85,943
有形固定資産	72,246	72,927
無形固定資産	1,968	2,190
投資その他の資産	10,343	10,825
流動資産	13,006	12,700
繰延資産	4,845	4,775
資産合計	102,411	103,419
負債の部		
固定負債	45,353	47,064
流動負債	29,199	28,151
負債合計	74,552	75,216
純資産の部		
株主資本	27,410	27,646
資本金	5,037	5,037
資本剰余金	2,797	2,797
利益剰余金	19,656	19,881
自己株式	81	70
評価・換算差額等	406	515
少数株主持分	41	40
純資産合計	27,858	28,203
負債・純資産合計	102,411	103,419

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)
売上高	28,202	26,592
売上原価	14,209	12,606
売上総利益	13,992	13,985
供給販売費	11,741	11,414
一般管理費	1,402	1,427
営業利益	848	1,143
営業外収益	425	284
営業外費用	728	646
経常利益	546	781
特別損失	158	500
税金等調整前中間純利益	387	281
法人税、住民税及び事業税	183	143
法人税等調整額	9	49
少数株主利益	0	1
中間純利益	194	86

(注) 会社法の施行に伴い「中間連結財務諸表規則」が改正され、当中間期から資本の部は純資産の部とし、表示区分を変更しております。また、これに伴い前期の表示区分を組替えております。

中間連結株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

項目	株式資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
18.3.31 残高	5,037	2,797	19,881	70	27,646	1,404	—	888	515	40	28,203
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			417		417						417
役員賞与			2		2						2
中間純利益			194		194						194
自己株式の取得				12	12						12
自己株式の処分		0		1	1						1
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						37	146	—	108	0	108
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	225	10	236	37	146	—	108	0	344
18.9.30 残高	5,037	2,797	19,656	81	27,410	1,442	146	888	406	41	27,858

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期
	(18.4.1～18.9.30)	(17.4.1～17.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,275	5,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,998	6,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	412	726
現金及び現金同等物の減少額	310	285
現金及び現金同等物の期首残高	1,104	1,195
現金及び現金同等物の中間期末残高	793	909

主要な連結経営指標

(単位:百万円)

	当中間期 (18.4.1～18.9.30)
売上高	28,202
営業利益	848
経常利益	546
中間純利益	194
純資産	27,858
総資産	102,411
1株当たり中間純利益(円)	2.79
1株当たり純資産(円)	399.82
自己資本比率(%)	27.2

中間財務諸表(単体)

中間貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.9.30)	前期 (18.3.31)
資産の部		
固定資産	75,994	77,574
有形固定資産	64,743	65,538
無形固定資産	1,841	2,050
投資その他の資産	9,408	9,985
流動資産	12,228	11,802
繰延資産	4,833	4,761
資産合計	93,055	94,138
負債の部		
固定負債	43,555	45,160
流動負債	25,884	24,845
負債合計	69,440	70,006
純資産の部		
株主資本	23,264	23,626
資本金	5,037	5,037
資本剰余金	2,797	2,797
利益剰余金	15,509	15,861
自己株式	81	70
評価・換算差額等	351	504
純資産合計	23,615	24,131
負債・純資産合計	93,055	94,138

中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.4.1-18.9.30)	前中間期 (17.4.1-17.9.30)
製品売上	17,430	16,827
売上原価	5,692	4,981
売上総利益	11,738	11,845
供給販売費	10,352	10,004
一般管理費	1,035	1,084
事業利益	350	757
営業雑収益	2,862	2,586
営業雑費用	2,755	2,513
附帯事業収益	572	717
附帯事業費用	467	558
営業利益	562	988
営業外収益	418	253
営業外費用	714	638
経常利益	267	603
特別損失	158	305
税引前中間純利益	108	298
法人税等	—	—
法人税等調整額	43	115
中間純利益	65	183

(注)会社法の施行に伴い「中間財務諸表等規則」及び「ガス事業会計規則」が改正され、当中間期から資本の部は純資産の部とし、表示区分を変更しております。また、これに伴い前期の表示区分を組替えております。

中間株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

項目	株式資本					評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
18.3.31 残高	5,037	2,797	15,861	70	23,626	1,393	—	888	504	24,131
中間会計期間中の変動額										
剰余金の配当			417		417					417
中間純利益			65		65					65
自己株式の取得				12	12					12
自己株式の処分		0		1	1					1
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)						38	191	—	153	153
中間会計期間中の変動額合計	—	0	352	10	362	38	191	—	153	516
18.9.30 残高	5,037	2,797	15,509	81	23,264	1,431	191	888	351	23,615

主要な経営指標

(単位:百万円)

	当中間期 (18.4.1~18.9.30)
売上高	20,866
営業利益	562
経常利益	267
中間純利益	65
純資産	23,615
総資産	93,055
1株当たり中間純利益(円)	0.94
1株当たり純資産(円)	339.42
自己資本比率(%)	25.4

(注)売上高の内訳は、ガス売上高、受注工事収益、器具販売収益、その他営業雑収益、附帯事業収益となっております。

会社の概況(2006年9月30日現在)

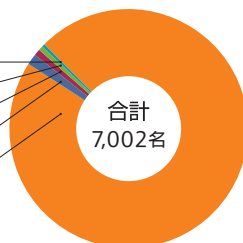
主な事業の内容

ガスの製造・供給および販売
ガス器具の販売およびこれに関連する建設工事

株式分布状況

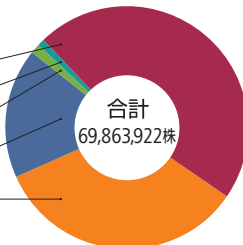
株主数構成比

■証券会社 0.40%
■外国法人等 0.61%
■金融機関 0.87%
■その他法人 1.49%
■個人その他 96.63%



株式数構成比

■金融機関 46.68%
■証券会社 0.92%
■外国法人等 1.29%
■その他法人 17.32%
■個人その他 33.79%



(注)個人その他には自己名義株式を、その他法人には政府・地方公共団体および証券保管振替機構名義株式をそれぞれ含めております。

主な事業所

本社……………札幌市中央区大通西7丁目3番地1
小樽支店……………小樽市入船4丁目33-1
函館支店・函館工場……………函館市万代町8-1
函館みなと工場……………函館市港町3丁目19-8
千歳支店……………千歳市清水町1丁目1-1
北見支店……………北見市北7条東1丁目1-1
北見工場……………北見市中ノ島町1丁目3-12

株式の状況

資本金 5,037,827,757円
発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式の総数 69,863,922株
株主総数 7,002名
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	5,310	7.60
第一生命保険相互会社	5,000	7.15
東京瓦斯株式会社	4,274	6.11
株式会社北洋銀行	3,006	4.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,655	3.80
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	2,629	3.76
札幌市	2,244	3.21
北海道信用農業協同組合連合会	2,000	2.86
株式会社北海道銀行	2,000	2.86
明治安田生命保険相互会社	1,450	2.07

(注)みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数2,629千株は、株式会社みずほ銀行が委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は、株式会社みずほ銀行が留保しております。

役員

代表取締役会長……………佐々木 正丞 取締役……………伊藤 亨
代表取締役社長……………前泉 洋三 取締役……………野田 雅生
代表取締役……………大槻 博 常勤監査役……………井川 洋
取締役……………濱多 悟 常勤監査役……………越前谷 正俊
取締役……………花坂 耕治 監査役……………安達 正
取締役……………岡崎 哲哉 監査役……………高橋 賢治
取締役……………丸子 彰 監査役……………河村 耕作

(注)1.伊藤 亨氏、野田 雅生氏は、社外取締役です。
2.井川 洋氏、高橋 賢治氏、河村 耕作氏は、社外監査役です。

グループ会社の紹介(2006年9月30日現在)



連結決算情報をご報告するにあたり、
当社の連結会社をご紹介します。
今後とも、グループ各社共々どうぞ
よろしくお願いいたします。

連結子会社ピックアップ

株式会社ケージープランニング

コンビニエンスストア向け店舗
照明の販売会社として昭和61
年に設立。現在は、店舗照明の他、
多様な店舗設備・機器の販売・
メンテナンス業務を通してお客
さまのニーズにお応えし、魅力的
な店舗作りをサポートしています。



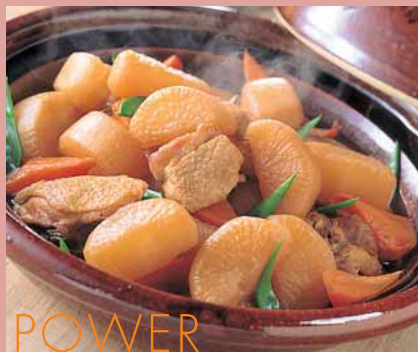
中華まん
ウォーマー

その他にも以下のグループ会社がございます。

持分法適用非連結子会社	持分法適用関連会社	持分法非適用非連結子会社
北東住設機器(株)	(株)北海道熱供給公社	(株)北ガス建設ホームサービス
石狩サービス(株)	(株)サッポロエネルギーサービス	チバネン開発(株)
北ガスシステムサポート(株)	(株)日石プロパン供給センター	(株)エフ・シー・プラン
(株)小樽ガス住設		(株)寿楽
(株)エネゼセル		

グループ会社の紹介

🔥 パワークッキング 🔥



POWER
COOKING

北ガスクッキングスクール統括主任講師 坂井美恵子

大根と鶏肉のゆず風味

- 大根は3cm幅に切り、皮をむき半分に切り、面取りをします。
- 1を米のとぎ汁に入れ、火にかけ、20分位下茹でをします。
- 鍋にサラダ油を入れ、火にかけ、鶏肉を入れさっと炒めず。
- 2の大根を入れ、A調味料を入れ、強火で煮ます。アクが浮いてきたらきれいに取り、中火にし、大根が柔らかくなるまで落とし蓋をして煮つくめます。
- 大根に竹串が通るくらいまで柔らかくなったら、落とし蓋を取り、調味料を煮詰めます。
- ゆず皮をおろし、5の煮ものにふりかけ仕上げます。

一口メモ

大根にはでんぷんの消化を助けるジアスターゼという成分が含まれています。「自然の消化剤」といわれるほど消化作用にすぐれた野菜です。このほか食物繊維のリグニンという成分が多く含まれています。食物繊維は胃腸の働きを整える作用があります。大根はまるごと食べられる野菜です。葉と接している部分が一番甘みがあり、先の方にいくにつれて辛みが増します。この辛みはみそと合わせることで辛みが消えますので味噌汁などに入れましょう。葉も根の数倍ものビタミンA・ビタミンB₂・ビタミンC・カルシウムが含まれています。無駄なくすべて使いましょう。

材 料(6人分)

大根	小 1本
米のとぎ汁	大さじ 3杯
鶏もも肉 (骨付きがぶつ切り)	3本
サラダ油	大さじ 1杯

A調味料

だし	1リットル
薄口しょうゆ	大さじ 1杯
濃口しょうゆ	大さじ 3・1/2杯
塩	小さじ 1/2杯
みりん	大さじ 1杯
酒	大さじ 2杯
さとう	大さじ 2・1/2杯

ゆず	1個
カップ1杯=200ml	
大さじ1杯=15ml	
小さじ1杯=5ml	

株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
剰余金の期末配当の基準日 毎年3月31日
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 郵便番号 168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社
証券代行部
☎0120-78-2031
各種手続き用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。
☎0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)
【URL】http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公 告 掲 載 紙 日本経済新聞
上 場 取 引 所 東京証券取引所・札幌証券取引所

**** 配当金のお受け取りは安全・便利な口座振込で ****

配当金振込制度のご案内

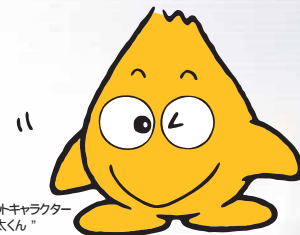
株主さまご所有の株式に対する配当金をご指定の銀行口座もしくは郵便貯金口座(通常貯金口座)へ直接入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振込先をご指定いただきますと、配当金のお支払いが決議されたつど、ご指定の口座へ自動的にお振り込みいたします。ご希望の株主さまは、上記事務取扱所あてに配当金振込指定書をご請求のうえ、お申し込みください。

北海道ガス
ホームページアドレス

<http://www.hokkaido-gas.co.jp/>

将来見通しに関わる記述についての注意事項

本報告書で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しにのみ全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関するご判断は、ご自身にてなされますようお願いいたします。



北ガスマスコットキャラクター
“てんたくくん”



あったかを、あなたに、街に、そして未来に。

北海道ガス株式会社



5紙配合率 100%再生紙を使用しています



この報告書は、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。